

野菜の需給・価格動向レポート(平成23年6月20日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類		5月の価格動向			6月の価格動向		生育及び価格の6月の見通し	
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基と なる平均価格	指定野菜の関 東・近畿ブロック 旬別平均販売価 額		
			中旬	下旬				上旬
葉 茎 菜	キャベツ	80.35	40	52	67.2	37	・千葉産は生育が順調で前年を上回る出荷となり、7月初めまで出荷が続く見込み。茨城産も生育が順調で、7月半ばまで出荷が続く見込み。群馬産は、下旬から本格的な出荷となり、7月半ばにはピークを迎える見込み。 ・潤沢な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。 (※トピック欄参照)	
		86.69	47	56	81.66	44		・入荷見込量：3,900t (110) ・主産地：茨城 (27)、愛知 (25)、兵庫 (21)、長野 (7)、福岡 (6)
	ねぎ (関東：白ねぎ。 関西：青ねぎ)	264.1	319	347	264.1	337	・入荷見込数量：4,217t (100) ・主産地：茨城 (64)、千葉 (18)、輸入 (7)	・茨城産は順調な生育で2L中心の出荷となり、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、少なかった前年より多いものの平年並みには届かない出荷量で推移する見込み。 ・千葉産の出荷が平年を下回ることから、価格は平年よりやや高めに推移する見込み。
		334.73	251	292	334.73	371	・入荷見込数量：230t (99) ・主産地：徳島 (24)、香川 (24)、大阪 (16)、奈良 (15)、高知 (8)、三重 (6)	
	はくさい	67.05	26	35	67.05	47	・入荷見込量：5,336t (99) ・主産地：長野 (47)、茨城 (38)、群馬 (14)	・長野産は順調な生育となり平年並みの出荷となる見込み。茨城産も生育は順調だが出荷の終盤を迎え減少傾向。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並み又は弱含みに推移する見込み。
		82.06	56	75	82.06	84	・入荷見込量：2,800t (106) ・主産地：長野 (64)、茨城 (21)、	
	ほうれんそう	376.1	394	427	376.1	418	・入荷見込量：1,663t (99) ・主産地：群馬 (30)、茨城 (22)、栃木 (16)、岩手 (14)、埼玉 (8)	・群馬産は産地の切り替わりに伴う出荷の谷間になっていることから、やや少なめの出荷になっている。茨城産も曇雨天の影響で、やや少なめの出荷となっている。 ・群馬産の出荷量の増加が見込まれることから、価格は高めながら平年並みに近づく見込み。
		396.89	410	477	396.89	478	・入荷見込量：500t (91) ・主産地：岐阜 (73)、北海道 (10)、奈良 (7)	
	レタス	164.45	101	115	126.45	144	・入荷見込量：8,112t (100) ・主産地：長野 (69)、群馬 (19)	・長野産、群馬産ともに準高冷地から高冷地への出荷の切り替わりの時期となっているが生育は順調で、平年を若干上回る出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		173.68	105	125	132.22	176	・入荷見込量：1,900t (105) ・主産地：長野 (91)、兵庫 (7)	
	たまねぎ	71.02	77	57	71.02	58	・入荷見込量：11,922t (110) ・主産地：佐賀 (59)、香川 (9)、兵庫 (9)、輸入 (3)、愛知 (2)	・佐賀産は梅雨の影響で収穫作業が1週間程度遅れているが、玉肥大は順調で平年並みの出荷の見込み。香川産も梅雨の影響で1週間程度収穫作業は遅れているが玉肥大は回復傾向で、前年並みの出荷の見込み。 ・府県産の順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		71.02	65	59	71.02	65	・入荷見込量：3,400t (90) ・主産地：兵庫 (58)、佐賀 (28)、大阪 (7)	
果 菜	きゅうり	189.84	198	257	189.84	342	・入荷見込量：7,649t (98) ・主産地：埼玉 (32)、群馬 (15)、茨城 (12)、福島 (12)、千葉 (9)、栃木 (6)	・埼玉産は作柄が順調で、平年並みの出荷の見込み。群馬産は、切り上がり時期となり出荷量は減少傾向。 ・関東産の平年より早めの切り上がりが見込まれることから、価格は平年をやや上回って推移する見込み。
		177.22	197	257	177.22	317		
	トマト	209.6	238	226	209.6	295	・入荷見込量：9,490t (105) ・主産地：栃木 (19)、茨城 (17)、千葉 (14)、愛知 (11)、熊本 (9)、群馬 (7)、埼玉 (5)	・栃木産はやや小玉傾向ながら、平年より多めの出荷量となっている。茨城産は曇雨天の影響でやや少なめの出荷となっていたが、生育が回復し平年並みの出荷の見込み。 ・関東産の夏秋ものが遅れていることから、価格は平年をやや上回って推移する見込み。
		228.5	210	220	228.5	291	・入荷見込量：1,900t (111) ・主産地：熊本 (23)、愛知 (15)、福岡 (14)、北海道 (13)、石川 (10)、徳島 (7)	
	なす	297.1	303	306	297.1	410	・入荷見込量：4,205t (98) ・主産地：高知 (28)、群馬 (17)、福岡 (17)、茨城 (10)、栃木 (8)、埼玉 (6)	・高知産は平年より低めの気温の影響で平年より小玉傾向の出荷となり、今月いっぱいの出荷の見込み。群馬産も、低めの夜温の影響で出荷量が少なめで推移しており、平年よりやや少なめの出荷の見込み。 ・少なめの出荷量が見込まれることから、価格は平年よりやや高めに推移する見込み。
		285.3	267	288	285.3	354	・入荷見込量：1,150t (110) ・主産地：大阪 (25)、高知 (21)、福岡 (13)、岡山 (13)、熊本 (10)、奈良 (8)	
	ピーマン	308.36	218	238	251.5	454	・入荷見込量：2,408t (103) ・主産地：茨城 (90)	・茨城産は、越冬ものの出荷がピークを超え今後は減少傾向で推移する見込み。 ・茨城産の出荷量が少なめと見込まれることから、価格は平年よりやや高めに推移する見込み。
		283.1	192	220	253.95	423	・入荷見込量：360t (100) ・主産地：宮崎 (41)、高知 (27)、和歌山 (16)、大分 (8)	
根 菜	だいこん	91.15	57	75	91.15	75	・入荷見込量：8,633t (100) ・主産地：青森 (52)、千葉 (32)、北海道 (6)	・青森産は、トンネル栽培から露地ものに切り替わり、順調な出荷となっている。千葉産は、中旬で出荷終了。北海道産の出荷も開始となった。 ・青森産の順調な出荷が見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		104.71	44	64	104.71	75	・入荷見込量：2,600t (90) ・主産地：青森 (33)、長崎 (18)、北海道 (15)	
	にんじん	156.99	134	116	133.01	125	・入荷見込量：6,407t (102) ・主産地：千葉 (72)、埼玉 (15)、輸入 (3)	・千葉産は生育が順調で肥大が進み、前年より多めの出荷量となっている。出荷の終盤を迎えているが、しばらくは前年よりは多めの出荷量で推移する見込み。 ・千葉産の順調な出荷が見込まれることから、価格は平年を下回って推移する見込み。
		156.17	117	99	139.6	108	・入荷見込量：2,200t (103) ・主産地：長崎 (33)、和歌山 (24)、徳島 (13)、愛知 (8)、宮崎 (8)、兵庫 (7)	

種 類		5月の価格動向			6月の価格動向		生育及び価格の6月の見通し
		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別 平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関 東・近畿ブロック 旬別平均販売価 額	
			中旬	下旬			
い   も	さといも	－			344	802	・鹿児島産は、冬場の低温の影響で少なめの出荷となっていたが、作柄が回復し 平年並みの出荷となっている。今後も平年並みの出荷が見込まれる。宮崎産も小 玉傾向だが、前年並みの出荷となる見込み。 ・価格は平年並みに推移する見込み。
		－			347.9	1009	
	ばれいしょ	131.8	208	198	131.8	197	・長崎産は、梅雨の降雨の影響で収穫は遅れているが、生育は回復傾向にあり、 7月中旬まで出荷が続く見込み。静岡産は、生育が遅れ下旬から本格的な出荷の 見込み。 ・価格は、平年より高めに推移する見込み。
		131.8	265	205	131.8	206	

1) 平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。  
2) 旬別平均販売価額の背景なしは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回るもの(消費税は除く)。  
3) 単位は円／kg、上段は関東、下段は近畿ブロック

1) 入荷見込量は関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。( )内は前年対比。さといもは前年実績。  
2) 主産地は東京都及び大阪府中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。  
3) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

## 2 野菜の需要動向

家計調査でみると、4月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4,796gで対前年比106%、購入金額は、1,789円で同95%となり、購入量は前年を上回ったが、購入金額は前年を下回った。

また、小売物価統計によると、5月のキャベツの小売価格は123円で過去5年平均比66%、レタスは296円で同74%となり、キャベツ、レタスともに過去5年比を下回り、特にキャベツが大きく下回った。

1 生鮮野菜の購入量及び金額

(1人当たりの購入量、金額)

年	過去5か年平均		平成22年		平成23年			
月	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	金額 (円)	購入量 (g)	前年比	金額 (円)	前年比
1月	4,189	1,529	4,240	1,551	4,310	102	1,573	101
2月	4,391	1,544	4,461	1,574	4,267	96	1,629	103
3月	4,767	1,695	4,970	1,768	4,867	98	1,788	101
4月	4,732	1,808	4,518	1,884	4,796	106	1,789	95
5月	5,094	1,902	4,925	1,965		0		0
6月	5,033	1,880	5,026	1,907		0		0
7月	4,438	1,683	4,264	1,697		0		0
8月	4,272	1,732	4,241	1,733		0		0
9月	4,868	1,806	4,606	1,818		0		0
10月	5,314	1,849	4,994	1,959		0		0
11月	4,997	1,614	4,678	1,774		0		0
12月	5,212	1,817	5,177	1,887		0		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

2 主要野菜の月別小売価格(東京都都区部)の推移

(単位：円/kg)

	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成23年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成23年	5か年比(%)
H22.7月	149	164	110	315	317	101
8月	159	166	104	449	536	119
9月	153	155	101	472	515	109
10月	146	192	132	419	668	159
11月	129	265	205	339	520	153
12月	146	185	127	456	393	86
H23.1月	189	186	98	618	502	81
2月	173	228	132	496	635	128
3月	181	206	114	455	435	96
4月	250	195	78	464	348	75
5月	185	123	66	399	296	74
6月	159		0	360		0

注1：過去5か年はH22.7～はH17～H21、H23.1～はH18～H22の平均

注2：5月の値は、5月中旬の速報値

資料：総務省統計局「小売物価統計調査報告」

## 3 野菜の輸入動向

平成23年5月の輸入量を植物防疫統計で見ると、たまねぎは前年比114%(うち中国125%、ニュージーランド52%)の2万3千トン、にんじんは同120%(うち中国136%、ニュージーランド92%)の7千トン、ねぎは同99%(うち中国99%)の4千トンとなり、たまねぎ、にんじんは引き続き前年を上回って推移している。

野菜等の輸入数量の推移について

(単位：トン、%)

区分	平成21年		平成22年		平成23年1～4月		平成23年4月
		前年比		前年比		前年同期比	前年同期比
生鮮野菜	615,271	102	820,687	133	378,261	130	118
加工野菜	1,569,627	95	1,677,840	107	586,128	110	102
野菜輸入量合計	2,184,898	97	2,498,527	114	964,389	117	107
うち中国産野菜合計	1,098,415	95	1,284,449	117	469,341	123	110
中国産シェア	50		51		49		

資料：ペジ探（原資料）財務省「貿易統計」

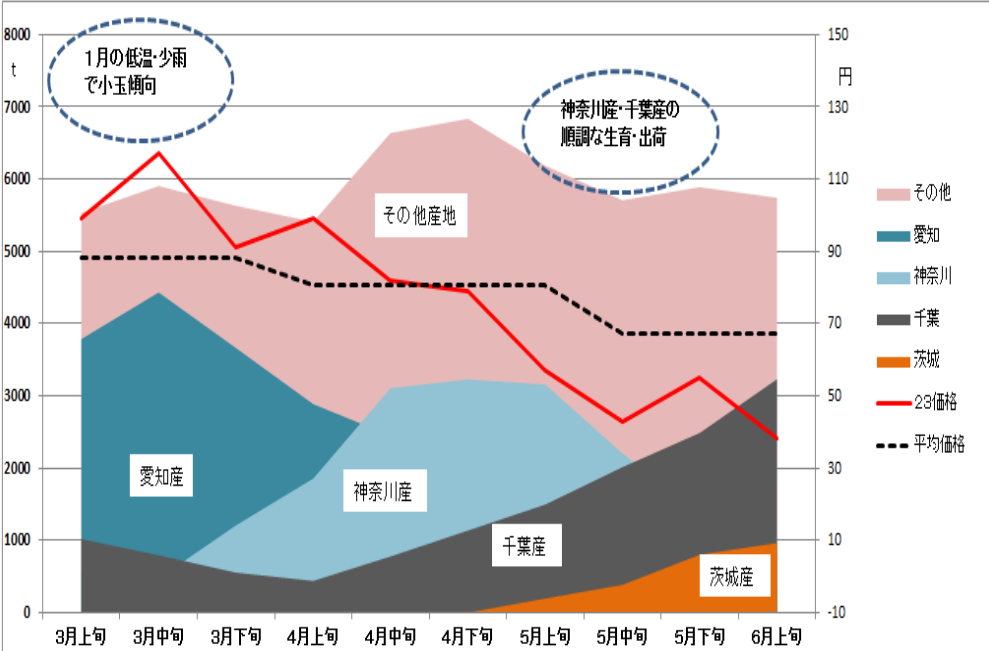
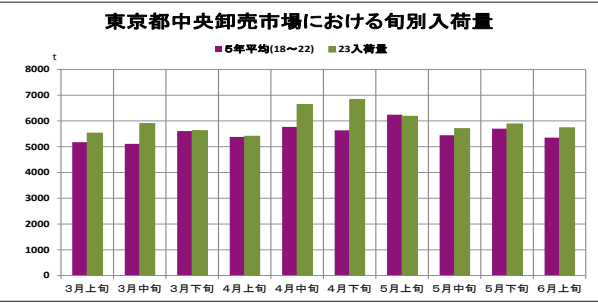
主な野菜の輸入動向

(単位：トン、%)

品目	輸入先	(A)2010.5	(B)2011.5	(B)/(A)
たまねぎ	合計	20,065	22,886	114
	中国	14,447	17,994	125
	ニュージーランド	4,131	2,162	52
にんじん	合計	5,961	7,131	120
	中国	3,939	5,376	136
	ニュージーランド	1,309	1,203	92
ねぎ	合計	3,615	3,587	99
	中国	3,613	3,582	99

資料：農林水産省「植物防疫統計」(2011.5)は、5月末日までの速報値である。

## 4 トピック

キャベツの価格低迷について  キャベツの価格低迷が続いている。3月までは冬場の低温、少雨の影響で、平年より価格が高めで推移していたが、4月以降は天候の回復に伴い、各産地とも順調な生育となり価格安となっている。 今後の需給動向について関係者に聴き取りを行ったところ、需要は価格安を反映して順調であるものの供給は野菜の生育に適した天候が続いており需要を上回る出荷量となる見込み。 気象庁の長期予報によると今後も主産地の天候は順調であることから、しばらくは需要を上回る供給が見込まれ、価格が低い状態が続くと思われる。	<h3>東京都中央卸売市場におけるキャベツの産地別入荷量の推移</h3>  <p>資料：青果物情報センター</p>	<h3>東京都中央卸売市場における旬別入荷量</h3> 
供給	<h3>需給動向</h3> <ul style="list-style-type: none"><li>・6月までが主産地の千葉産は好天に恵まれ、順調な生育、出荷となっている。出荷の終盤を迎えているが、今月末から来月初めにかけは平年より多めに出る見込み。</li><li>・7～9月の東京都中央卸売市場の6～8割を占める群馬産は、これから本格的な出荷となり、7月半ばにはピークを迎える。好天に恵まれ、根の活着もよく生育が良好で平年より少し多めの出荷量を見込む。</li></ul>	
需要	<ul style="list-style-type: none"><li>・総務省の家計調査によると、家計消費は堅調で、量販店の売り上げも価格安を反映して順調。</li><li>・早めに帰宅する人が多く、外食産業全体では需要が弱まる傾向にある一方で、中食は順調である。</li></ul>	

【大規模生産者・法人の皆様への窓口を開設しました！(直接契約課)】  
★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 [http://www.alic.go.jp/y-suishin/vaiukyu01\\_000076.html](http://www.alic.go.jp/y-suishin/vaiukyu01_000076.html)  
●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484